

## 令和5年度 第4回 河南町地域公共交通会議 会議録（議事要旨）

- 日時 令和6年2月2日（金） 午後2時～3時
- 場所 河南町総合保健福祉センター（かなんびあ） 2階 大会議室
- 出席者 委員24名/欠席3名  
事務局3名  
総合調査設計(株)2名  
傍聴者9名

○公開・非公開の別 公開

- 配布資料 資料1 委員名簿
- 資料2 河南町地域公共交通計画の素案について

### 【参考資料】

- 河南町地域公共交通計画（素案）概要版
- 河南町地域公共交通計画（素案）
- 河南町地域公共交通計画策定に向けたスケジュール
- 河南町地域公共交通計画（素案）に関する意見書
- 河南町地域公共交通会議資料（関委員持込資料）

- 議事次第 1. 開会
- 2. 会長・町長挨拶
- 3. 案件
  - (1) 地域公共交通計画の素案について
  - (2) その他

### ○議事要旨

#### (1) 地域公共交通計画の素案について

事務局から参考資料に基づき説明を行った。素案の意見については本日出た意見に加えて、配布した「河南町地域公共交通計画（素案）に関する意見書」に記入し期日までに事務局へ送付することで了承を得た。

質疑及び意見等は議事概要のとおり。

#### (2) その他

関委員より持ち込み資料の説明があった。

国土交通省から補助交付を受けている地域公共交通確保維持改善事業(調査事業)に関する事業評価を行った旨、会長から説明し了承を得た。

## ○議事概要

### (1) 地域公共交通計画の素案について

- 関委員 素案本編 62 ページは予算額が現状値として評価指標に記載されている。この現状以下が目標値とされているが、午前中に行われた4市町村の広域協議会では国から約4,600万円の補助金が出たという報告があった。この計画の数字は町単独での負担額なのか、交付金等の国の負担額も含まれた額なのか、どう考えるものであるのか。
- 猪井会長 国庫補助金の4,600万円については令和5年度補正予算に計上されたものだが、この計画においては令和6年度当初予算として計上した金額を記載して現状値としている。
- 事務局 会長から説明のあったとおり、町単独で予算計上した金額を現状値として記載している。
- 関委員 先日、山中田停留所あたりで近鉄バス（4市町村コミバス）の事故（もらい事故）がありました。その時、さくら坂の方には連絡が無かったので、乗客は何が起こっているのかわからぬまま一時間程度待つということがあった。このように事故などがあった際の事業主体はどこなのか、4市町村コミバスであればどこに問い合わせれば良いのか、何かあった際の問い合わせ先を明確にしてほしい。
- 猪井会長 事故について、基本的な運行責任は4市町村コミバスであれば、広域協議会になる。広域協議会がどう対応するかというと事務局は富田林市交通政策担当が担うこととなったので、そちらまでとなるが、一方で、河南町役場に問い合わせさせていただいてそこから伝えてもらうということもあるだろう。
- 事務局 バス事業者からもアドバイスをいただきたい。事故が起こった際の長時間の遅延であればホームページに掲載といった対応もあるかもしれないが、どのように運用するのが正しいか悩ましいところ。
- 事務局 先日事故があった際も、遅延の状況が分からないという問い合わせを河南町までご連絡いただいた。現在運行している路線バスは4市町村の広域協議会が主体であるが、各運行事業者として近鉄バス・河南町が運行している。河南町役場では普段は総務課が所管しており、休日は宿直がいるのでそこで対応できると考えている。また、自家用有償で運行する金剛バスの車両には車体にGPSが搭載されていないのでロケーションシステム等が遠隔で把握できず、遅延を発信することが現状では厳しい状態。そのあたりは事故等への対応を考え、今後課題と捉えて対応していきたいと考えている。
- 宮本委員 このたびはご迷惑をおかけして申し訳ございません。例えば、他路線で事故があった場合は営業所より予備車両を代走して対応する。今回の場合は路線を担当する営業所は八尾にあり、遠方からなので時間を

要する事態となった。

事故等が発生した際は営業所は車両 GPS 等で把握している。そういった情報があれば、河南町の方にも早急に情報提供をしてスムーズな運行に努めていければと考える。

古川委員

この計画に取り組んでいくにあたって、4市町村広域協議会で取りまとめている10路線のうち、河南町は6路線も関わっている。まずは何においても運転手確保に向けて、河南町はどのようなことを現在も、これからも続けていくのか。『2024年問題』など運転手不足は顕著で、運転手の取り合いになると思う。いい計画を立てたとしても、まずは運転手がいなければ始まらない。6路線も関わる河南町として、運転手確保に対してどのように施策を取っていくのかお聞きしたい。

住民からは色々な要望が上がっているかと思うが、これをやっていくにはまずはお金の問題が一番であると思う。確かに地域公共交通としてバスは河南町に大事なこと。これにお金をつぎ込んでいくこと自体が、少子高齢化の中で町民に対するサービスとして考えていかなければならないのではと思う。今すぐに結論が出るわけではないが、もっと効率のいい運行の仕方・運び方、運転手が少なくても対応できるやり方というのも考慮しなければならないのではと考えている。

とりあえずは運転手と資金はしっかり集めていただける方法を探していかなければならない。河南町はこれ以上人口が多大に増えるわけではない。つまり利用者が多大に増えるわけではない。これだけの事業を維持しようとする、資金がかかってしまう。そのあたりも計画案に入れ込んでもらいながら、取り組んでいただきたい。

猪井会長

後半のお話も大変重要だが、前半で指摘頂いた乗務員確保については、4市町村広域協議会は乗務員確保の取り組みを次年度に行う。各市町村の広報紙やWEBサイトでの啓発を行い、運転手が不足している旨を周知することにしている。公的な広報紙に企業の求人を載せることは難しいが、計画に位置付けられた事業であるとする、説明しやすくなるので、運転手確保については施策等に追記したいと考える。

関委員

計画素案概要版に記載されている既存資源の活用について、スクールバスの活用と書かれており、非常にありがたいと思っている。新しい路線バスを走らせるため、カナちゃんバスの朝夕が4本減便され、中学生の通学に非常に不便になってきた。今まで10名程が7時台のバスに乗っていたが、同じ運賃で行けるものの、2~3人に減ってきている。要するに安い運賃だが、利用がしにくくなると利用者が減ってくる。ここでスクールバスの回送便を有効活用する等、是非本格的に検討して欲しいと考える。

また、事故などの問い合わせも含め、利用者の声や意見を聞いてくれ

る窓口等のお客様相談窓口というような形で広報紙に載せてくれば  
と思う。利用者にとって利用しやすい、担当者にとっても利用状況が  
分かりやすいような仕組みにしてほしい。緊急時は防災無線を使うこ  
とや河南町公式LINEを利用した配信など、ロケーションシステムと共  
に考えていただけたらありがたいと思う。

猪井会長

スクールバスはせっかくの町の既存資源なので、使って欲しいというこ  
とと、問い合わせ窓口等についても事務局で一度検討していただけれ  
ばと思います。

以上

議事録署名委員

田村夕香

議事録署名委員

安井啓悦